

日 時
授業場

児 童 5年
授業者

1. 単元名 Unit7 Welcome to Japan

～JICAの方に日本のことをよく知ってもらうために、四季の行事や日本文化を紹介しよう～

2. 単元の目標

日本の四季や魅力を知りたいと思っている JICAの方に、自分のおすすめの季節とその理由を伝えるために、季節・行事・できること等について伝えたい内容を整理し、自分の気持ちや考えを表すことができる。

3. 単元の評価規準

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|------------|--|---|--|
| 話すこと 発表 | 季節・行事・できることを表す語句や、Why do you like ~? We have ~ in... You can ~などの表現を理解し、考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。 | 自分のおすすめの季節とその理由を伝えるために、伝えたい内容を整理したり、再構成したりしながら、気持ちや考えを表現している。 | 日本の四季の行事や日本文化を伝えるために、季節・行事・できることなどを他者に分かりやすく伝えようとしている。 |
| 書くこと | 上記のような表現を用いて、自分の考えや気持ち等を書く技能を身に付けている。 | 相手を読みたくるように、内容や構成を考えて、自分の気持ちや考えを書いている。 | 日本の四季の行事や日本文化をより理解してもらえるように、分かりやすく書こうとしている。 |

●言語材料

| 主な表現 | 主な語彙 |
|---|---|
| What season do you like? I like ~. Why do you like ~? We have ~. We can ~. I usually ~. | 行事 (New Year's Day, Doll's Festival, April Fool's Day, Children's Day, Star Festival, Halloween, New Year's Eve) 季節, 月, 気持ちや様子を表す語, 動作を表す語 |

●単元のゴールで目指す児童の発表例 (発表したことをもとに手紙を書く)

【発表例】

Hello!
We have 4 seasons in Japan.
I like (季節). What season do you like?
We have (行事) in (季節や月).
We can (できること)(行事).
It's ~.
Thank you for listening.

【手紙の例】

※手書きで作成



Thank you for coming to our school.

We have 4 seasons in Japan.

I like fall. What season do you like?

We have Otsukimi in fall.

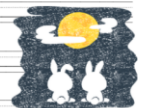
You can see the big moon!

You can eat Dango.

It's delicious.

See you.

From



4. 単元のデザイン（全7時間）

| 次 | ○学習活動・学習内容 | ●手立て | 評価の観点 | | | | |
|---|---|--|--|---|---|---|---|
| | | | 知 | 思 | 態 | | |
| 1 | <p>○JICA の方による季節の様々な行事についての短い話を聞いて、概要を理解する。</p> <p>①JICA の方に写真を用いながら話してもらうことで、内容を推測しながら話を聞けるようにする。</p> <p>○既習表現を用いて質問し、様々な文化への理解を深める。</p> <p>②既習表現を用いて質問できるように、これまでに学習した表現を掲示する。</p> <p>○日本の四季ごとの行事や日本文化について知りたがっていることを知り、日本についても紹介するという単元のゴールの見通しをもつ。</p> <p>①JICA の方に「日本のことも教えてほしい」と直接依頼されることで、単元を通して相手意識や目的意識をもって取り組めるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>話をしてくれた JICA の方に、日本のおすすめの季節やその理由を伝えよう！</p> </div> | <p>子供達の「伝えたいけれどもうまく言えなかったこと」「言い方が分からなかったこと」を取り上げたり、友達との発表のよさに触れる機会を作ったり</p> <p>「日本のことを知りたいと思っっている外国に住む人」を伝える相手として設定し、直接依頼を受けることで単元全体を通して、相手意識や目的意識をもち、言語活動に取り組めるようにする。【手立て①】</p> <p>【手立て②】</p> | <p>四時間目までは記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> | | | | |
| 2 | <p>○季節や行事についてまとまりのある話を聞いてその概要を捉えることができる。</p> <p>①四季がない国に住む JICA の人に伝えるとしたらどの季節をおすすめしたいか、それはなぜなのか学級全体でアイデアを出し合えるようにする。</p> <p>○自分が JICA の方に伝えたい季節や行事・文化について言ったり聞いたりする。</p> <p>②ペアで発表の際に中間指導の場を設けることで、仲間の発表のよさに気付いたり、困り感を共有したりできるようにする。</p> | | | | | | |
| 3 | <p>○自分が JICA の方に伝えたい季節や行事・文化についてできること等の理由を含めて言ったり聞いたりする。</p> <p>①行事を伝えるだけでよいか問いかけることで、できることなどを伝える必要があることに気付けるようにする。</p> <p>②ペアでの発表の際に中間指導の場を設けることで、仲間の発表のよさに気付いたり、困り感を共有したりできるようにする。</p> | | | | | | |
| 4 | <p>○自分が JICA の方に伝えたい季節や行事・文化について、自分の気持や感想を含めて表現する。</p> <p>②前時で It's good. や It's beautiful. といった感想を表現していた児童を取り上げ、気持ちや感想を伝えるよさに気付けるようにする。</p> <p>○ALT による手紙の書き方についての短い話の概要を捉え、例文を参考にしながら季節や行事、使ってみたい手紙の表現を書き写す。</p> <p>①季節や行事・文化に加えてどのような内容が手紙に書いてあると嬉しくなるかを考えさせることで、簡単な表現を ALT に教えてもらう必要感をもたせる。</p> | | | | | | |
| 5 | <p>○自分が JICA の方に伝えたい季節や行事・文化について、メモをもとにグループで発表する。</p> <p>○発表を聞いて感想やアドバイスを伝え合う。</p> <p>①「相手により理解してもらえるように」等の理由がある場合は、イラストや写真を用いて発表してもよいこととする。</p> <p>①JICA の人に伝わる内容となっているかという視点で振り返らせることで、感想やアドバイスを伝え合えるようにする。</p> | | | | 発 | 発 | 発 |
| 6 | <p>○自分が JICA の方に伝えたい季節や行事・文化について、十分に慣れ親しんだ表現や例文を参考にしながら、手紙に書く。</p> <p>●ALT に教えてもらった表現や児童から出てきた行事名等を一覧にして、書き写すことができるようにする。</p> <p>①②相手意識をもってイラストを入れる等の工夫をしている児童がいた場合、全体の場で取り上げてよさを共有する。</p> | | | | | | 書 |
| 7 | <p>○前時で書いた手紙をクラスのメンバーと交換して読み合い、読んだ感想を書き合う。</p> <p>②自分の手紙と友達の手紙の共通点や相違点、真似したい点などに注目して読み、付箋に感想を書けるようにする。</p> <p>②友達の手紙を読み、改めて自分自身の手紙を修正の時間を確保する。</p> | | | | 書 | 書 | 書 |

5. 本時の目標 (3/7)

日本の季節の行事や文化を伝える際、JICAの方が分かるように伝えるにはどうすればよいかという視点で、自分の思いや考えが伝わるように工夫をして表現することができる。

6. 本時のデザイン

主張する手立て

| 教師の働きかけ (●発問、▲補助発問、■指示・説明) | ◆留意点 ※評価 |
|---|--|
| <p>1. Greetings & 単元のゴールの確認をする</p> <p>2. Small Talk (season)で表現を振り返る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> What season do you like? - I like ~. Why do you like ~? - We have ~. </div> <p>3. 本時の見通しをもつ</p> <p>●今の I like ~. We have ~ in... だけで、その季節や行事のことが伝わりそう?</p> <p>▲では、さらにどんなことを伝えたいだろう?</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・行事の名前だけ言われても JICA の人は分からないと思う。 ・日本にしかないことだから、詳しく説明しないと伝わらないと思う。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・～ができるよ、～が見れるよ ～を楽しめるよとかかな? </div> <p>▲例えば「お月見」だったら、どんなことができるって言えそう?</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・だんごが食べられる ・食べるは eat だから can eat DANGO かな? ・大きい月を見れる ・大きいだから Big で... ・見るは see かな? </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> JICAの方に伝わるように、その季節やイベントでどんなことができるのか詳しく説明してみよう! </div> <p>4. 自分が紹介したい行事やその行事でできることを考える</p> <p>■前回自分が伝えたいと思った季節や行事・文化について、どんなことができるかメモシートに書き込んで考えを広げよう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 花見だったら、花が見れる、木の下でご飯が食べられるはどうか... </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 夏祭りでは、盆踊りをしたり花火を見たりできるよね。 </div> <p>5. 自分が紹介したい行事やその行事でできることを伝え合う</p> <p>■What season do you like? Why do you like ~? で質問をして、自分が伝えたい季節やイベントについて詳しく説明してみよう!</p> <p>【代表児童が前に出て全員で質問して表現を確認する】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> What season do you like? - I like ~. Why do you like ~? - We have ~. You can ~. </div> <p>6. ペアで発表し合い、困り感や分かりやすかった発表を共有する</p> <p>●何て言えばいいか分からなかったり、発表で困ったりしたことはありますか?</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 大きな花火が見れるっていいんだけど... </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> そのまま英語にしたら Flower Fire だよ。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> Picture Dictionary に Fireworks って書いてあるよ! </div> <p>●(数名の児童に発表してもらって) どんなことを言っていたかな? よかったところはどんなところかな?</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ○○を楽しむことができると言っていた。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> できることを2つ言っていて、どんどん詳しく説明しているのがよかった。 </div> <p>7. 自分の発表内容をもう一度考え、再度ペアを変えて発表をする。</p> <p>8. さらにどんな工夫ができそうか、次時に向けてアイデアを出し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> さらに It's good と付け加えている人がいてよかったから真似したい。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 前の自己紹介の時みたいに自分の感想を言うのもいいと思う。 </div> | <p>◆教師から数名の児童に質問した後、好きな季節について1分間のペアでの会話を行うことで、前時で学習した表現を振り返られるようにする。</p> <p>◆伝える相手のことを意識した際に、前時のような発表では不十分であることに気づき、工夫する必要感をもてるようにする。</p> <p>◆どのような工夫ができるか、まずは例を出し、学級全体で考えていけるようにする。</p> <p>◆前時で使用したワークシートを使って考えを深めていけるようにする。</p> <p>◆うまく表現できない所は日本語で表現することを認めつつ、その後の全体交流の場で全体で言い方を確認できるようにする。</p> <p>◆<u>中間の発表のよさに気付いたり、困り感を共有したりできる場を設定し、自分の言語活動をメタ認知できるようにする。</u></p> <p>◆it's等さらに工夫している児童がいた場合は、その児童の発表を聞いて工夫について考えられるようにする。</p> |

(2) 授業の主張点

本時の目標は、「日本の季節の行事や文化を伝える際、JICAの方が分かるように伝えるにはどうすればよいかという視点で、自分の思いや考えが伝わるように工夫して表現することができる。」である。また、本時で育みたい資質・能力は、「外国に住んでいるJICAの人」の知らない日本の行事や文化を伝える際に、どのような情報を伝えればよいかを考え、既習表現を用いながら自分の思いや考えを表現することである。

授業の主張点

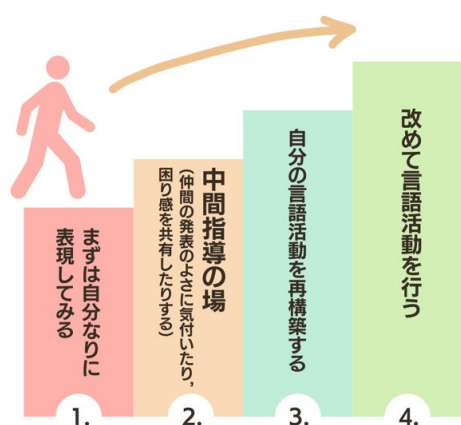
1. 相手意識や目的意識をもち、使用場面を意識しながらやりとりできる明確なゴールの設定
2. 自分の言語活動をメタ認知し考えを再構成する場の設定

1. 相手意識や目的意識をもち、使用場面を意識しながらやりとりできる明確なゴールの設定

児童は前時の段階で自分が伝えたい日本の季節の行事を考えている。伝える相手が日本人であれば、その行事についての詳しい情報を伝える必要感を感じることは難しいかもしれないが、今回は「日本のことを知りたいと思っている外国に住む人」を伝える相手として設定することで、行事についての詳しい情報を伝える必要感が感じられるようにしている。

また、単元の導入でJICAの方に自国の文化を紹介してもらい、自分たちも同じように日本のことを伝えたいという思いを持ち続けながら授業に臨めるようにしている。

2. 自分の言語活動をメタ認知し考えを再構成する場の設定



左図のように、「まずは自分なりに表現してみる場」→「中間指導で仲間の発表のよさに気付いたり、困り感を共有したりできる場」→「自分の言語活動を再構築する場」→「改めて言語活動を行う場」を授業の中に位置付けている。こうした中間指導を取り入れることで自分の言語活動がメタ認知でき、伝えたいことを再構築して伝えようとする児童の姿が見られると考える。また、中間指導で児童から疑問が出てきた際には、教師がすぐに答えるのではなく学級全体で推測しながら言い方を考えていけるようにしていく。